

ミュージックアーティスト科

エンタテインメント1

対象	2年 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	館里沙	実務 経験	有	職種	ステージディレクター						

授業概要

これまでの音楽あるいは音楽と関わりの深いエンターテイメントの実例を知ることによって、音楽業界の今後の可能性と自身の将来の活動について考えます。また、音楽イベントの多くは他のアートの分野とも協同しているということをふまえ、特に総合芸術的な特色の強い作品・イベントに焦点を当てた事例分析をします。

到達目標

・音楽が深く関わる作品やイベントに対し、なぜそれが当時評価されたのか、作品内容のどのような点に価値があるのか等、分析・考察する力を身につける。・音楽と関わりの深いアートの諸分野に対しても知見を広める。・自分自身で時代やメディアの動向を見ながら、音楽イベントの企画を練る。

授業方法

・各テーマに沿った作品やイベントを、講師が概説を添えながら鑑賞し、批評・考察する。・音楽の深く関わる総合芸術（舞台芸術など）の事例を採り上げ、ある作品が完成したりあるイベントが成立するまで、どのような過程があるのかを概観する。・講師が与えた課題に対し、自身で過去の事例を調べたうえで、企画・演出を考える。

成績評価方法

・毎授業のミニレポート（30%）・授業への参加態度（30%）・学期末のレポート（40%）

履修上の注意

専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、卒業後の自分自身の生きる力を得るべく、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

なし。参考資料等は、授業中に指示する。

回数	授業計画
第1回	「音楽とは何？」を考えてみる□私達は音楽の何に価値を感じてきたのだろうか？□ 「音楽」と「録音」の違いは？
第2回	音楽と美術の共通点／相違点音楽の歴史と美術の歴史の連動
第3回	舞台芸術の歴史その1（古代ギリシャへの関心・オペラの誕生）

第4回	舞台芸術の歴史その2（オペラは個人の技術か演劇的な対話か／喜劇か悲劇か）
第5回	舞台芸術の歴史その3（19世紀以降のオペラ：近代の嗜好の変化）
第6回	音楽と舞踊（音楽とバレエの関わり、宮廷文化や市民社会との関わり）
第7回	音楽とバレエ（クラシックバレエ／モダンバレエの興りと展開）
第8回	これがアート！？：より現代の「芸術作品」
第9回	これがアート！？：より現代の「総合芸術」
第10回	オペレッタとミュージカル
第11回	商業音楽（ポピュラー音楽）と芸術音楽
第12回	総合芸術のバックステージ
第13回	同じ舞台作品の違う演出を比べてみよう
第14回	期末レポートのための課題提示と概説
第15回	期末レポートの作成